

南島原市原城世界遺産センター 展示設計概要

展示の目的

潜伏キリシタンや鎖国という、歴史の転換点となった出来事の「きっかけ」の場所である原城の世界遺産としての価値を伝え、原城跡はじめ市内のフィールド周遊を促す

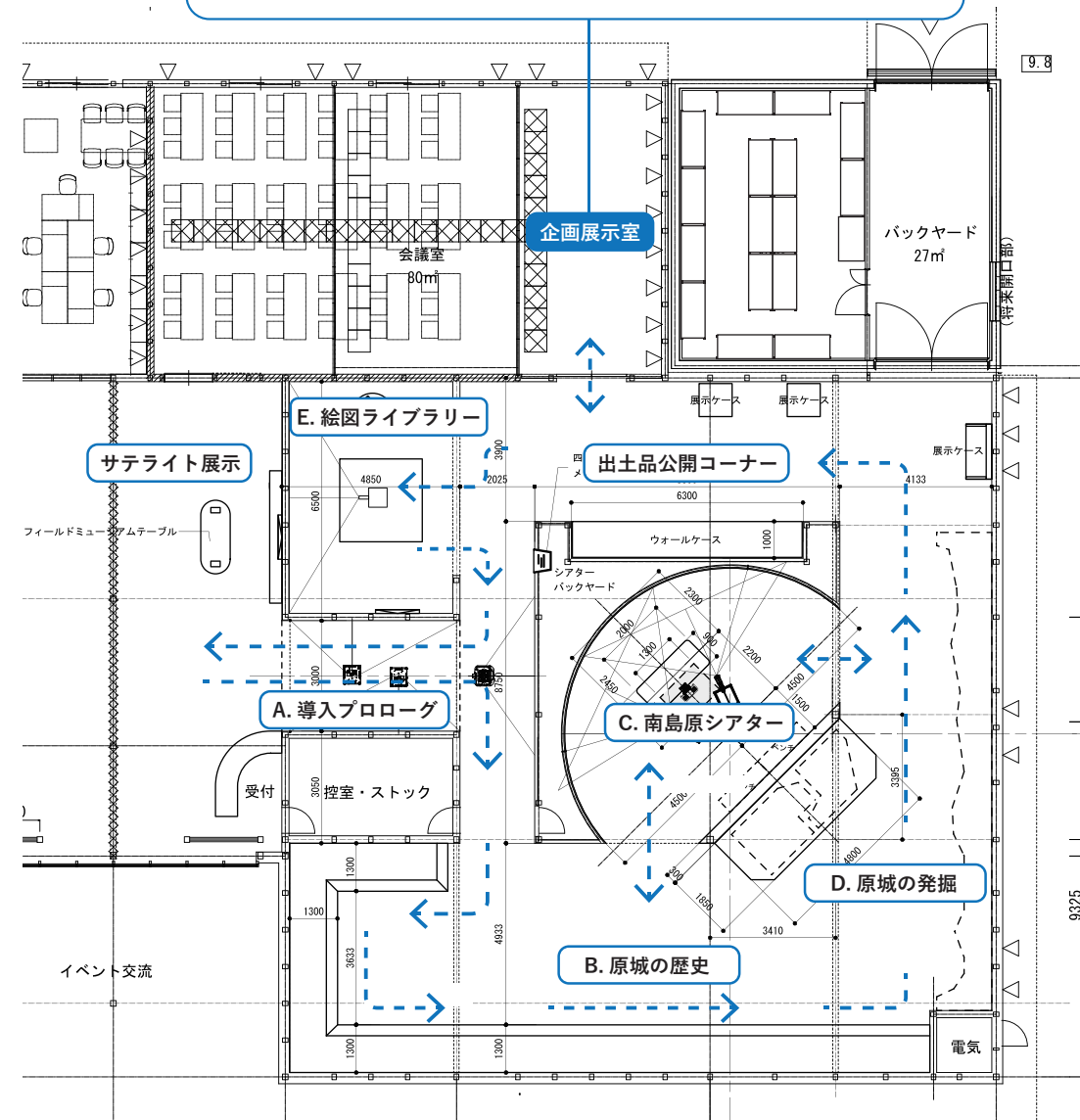
サテライト展示



周遊を促す様々なコンテンツ

観光情報やイベントチラシ、キリシタン関連史跡を一望するマップで市内周遊を促します。更に 12 の構成資産を紹介する世界遺産紹介を行い、他地域への興味も高めます

企画展示室は原則、常時企画が開催されている場所として展示室に対して開けた空間とする。会議室まで拡張したり、出土品公開コーナーと一体とした展示を行うことなどが考えられる



A. 導入プロローグ



当時の領民と同じ視座にマインドセット

エントランスから展示室に向かう通路では、島原・天草一揆にまつわる印象的な言葉と、当時の南島原をイメージしたような景色のグラフィックを組み合わせた映像演出で、領民に想いを寄せながら展示を観覧していく気持ちの切替を行います

B. 原城の歴史



多様な見方ができる歴史ストーリー

島原・天草一揆の歴史的背景～破却、世界遺産となるまでのストーリーを空間全体で紹介します。繁栄の時代と主戦場となる時代を空間のトーンで差別化し、また興味や知識の深度に合わせて多様な見方ができる展示とします

C. 南島原シアター



原城の価値を自分ごと化する映像体験

歴史的な一揆の全容を理解し、現地にやってきたことを実感する「歴史ダイジェスト」と、2つの価値の内容・関係性を理解する「ワークスルーコンテンツ」を上映するシアター。

2種類のコンテンツで原城の価値を自分事とします

E. 絵図ライブラリー



全国の絵図を閲覧できる唯一の場所

全国の島原・天草一揆関連絵図データを閲覧します。
大勢で共有する壁面映像と、じっくり閲覧するパーソナル端末を用意し、多様な見方に対応します。絵図実物を展示できるエアタイトケースも用意し、映像と実物で絵図と出会う実感を高めます

出土品公開コーナー



フレキシブルな出土品展示空間

発掘物量を面的に見せるウォールケースと、個別に歴史的価値を示すハイケースを用意します。企画展示室と合わせて展示を行うなど、自由度の高い展示が可能となる展示環境を設計します

D. 原城の発掘



発掘調査への興味関心や期待感を高める

石垣レプリカと発掘・調査から分かった知見を
展示し、学術的な興味から現地への誘引を測り
ます。さらに、まだまだ発掘は終わっておらず、
現在進行形で調査が行われていることを周知し、
新しい発見への期待感を高めます

工事名称 南島原市原城跡世界遺産センター展示工事	チェック +	日付 2024. 03. 29	設計 . .	契約名称	図面名称 業務仕様書 業務概要	縮尺 NON	図面番号 共 -0001-01
---	---	--	---	--	--	---	--